

SSH指定校における卒業生追跡調査の結果

令和8年1月10日～2月3日の期間に、本校卒業生を対象とした「SSH指定校における卒業生追跡調査」を実施しました。18名の卒業生から回答をいただくことができました。

【質問】

質問1：一宮高校での経験（授業や課題研究等）が、次のどの能力を身につける基礎となりましたか。

【I 情報分析活用力】（複数選択可）

- ①課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。
- ②情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。
- ③情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。
- ④情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。
- ⑤集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。

質問2：一宮高校での経験（授業や課題研究等）が、次のどの能力を身につける基礎となりましたか。

【II 論理的思考力】（複数選択可）

- ①物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。
- ②他者の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。
- ③自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。
- ④「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。
- ⑤「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。

質問3：一宮高校での経験（授業や課題研究等）が、次のどの能力を身につける基礎となりましたか。

【III 決断実行力】（複数選択可）

- ①対話による議論ができ、意見をまとめることができる。
- ②伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。
- ③目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。
- ④自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。
- ⑤自分の限界に挑戦しようとする。

【結果】

本調査は、1期・5期生など大先輩から一昨年卒業した42期生まで幅広い年齢の方から回答いただきました。

3つの質問で最も多かった回答は、以下の通りです。
質問1「③情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。」14人。

質問2「①物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。」14人。

質問3「④自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。」12人。

アンケートにおける自由記述欄では、「理系の課題解決能力が備わった」「研究活動の苦しみと楽しさの礎となっていること」「一宮高校で受けた授業や部活動がきっかけで教員を目指そうと思った。」などの回答がありました。これらの回答にあるように、本校での活動が資質・スキルの向上や将来の職業選択につながったことを実感している方が多くいらっしゃるようになりました。本調査では、卒業後も本校の様々な活動が自身の能力の伸長につながることがわかりました。

